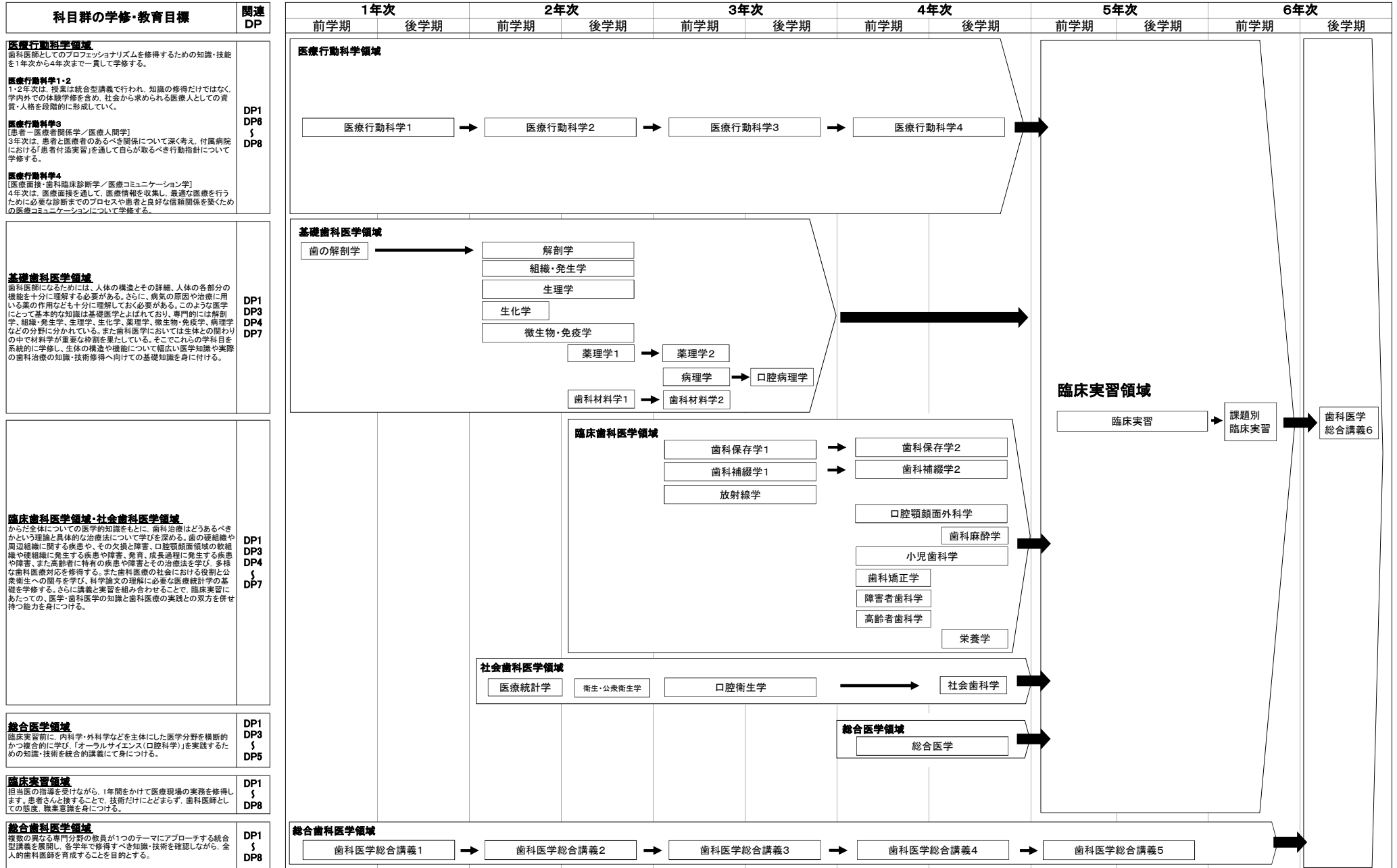


令和2年度施行カリキュラム 松戸歯学部 履修系統図（授業科目関連図）



令和2年度施行カリキュラム 松戸歯学部 履修系統図（授業科目関連図）

科目群の学修・教育目標	関連DP
医療行動科学領域 歯科医師としてのプロフェッショナリズムを修得するための知識・技能を1年次から4年次まで一貫して学修。授業は統合型講義で行われ、知識の修得だけでなく、学内外での体験学修を含め、社会から求められる医療人としての資質・人格を段階的に形成していく。	DP1 DP8 DP8 DP8
保健体育科目 健全な心身の維持・向上と、多くの実技実習等を通じた「社会性」の体得を目指した教育を展開する。	DP1 DP5 DP7
教養科目 歯科医師には専門知識・技術だけでなく、幅広い教養も必要という観点から、充実した教養科目群を設ける。	DP1 DP8
教養系領域 （保健体育・教養・外国語・準備教育） 保健体育科目では、歯科医師として心と身体の健康を管理できる能力を育成し、身体機能の維持・増進に加え、社会性の体得と自律した確かな人間性を高める。歯科医師には専門知識・技術だけでなく、幅広い教養も必要という観点から、充実した教養科目群を設ける。日本大学全学共通教育科目「自主創造の基礎1」、「自主創造の基礎2」、「日本を考える」では、大学での学びやこれからの生き方において必要な日本大学教育憲章に示す基礎的素養を学生個々が身に付けることを主眼とする。また、実社会との関連から教養を学ぶ意義への理解や自身の専門分野を学ぶ意識を高め、以後受講する科目等の成果の充実に寄与するものとする。準備教育科目の「物理学」「生命科学」「数学」においては、基礎歯科医学との関連性を重視した学修指導を行う。	DP1 DP2 DP6
外国語科目 「英語」を必修とする。昨今のグローバル化に伴い、歯科医学の学修及び臨床の場においては、英語をはじめとする外国語の技能（聞く、話す、読む、書く）修得も肝要である。コミュニケーションツールとしての外国語のみならず、歯科医学情報の収集・分析、文献購読、研究等を見据えた語学教育を目指す。	DP1 DP3 DP4 DP7
準備教育科目 「物理学」「生命科学」「数学」においては専門科目への準備のための科目と位置づけ、基礎歯科医学との関連性を重視した学修指導を行う。	DP1 DP5 DP8
総合歯科医学領域 複数の異なる専門分野の教員が1つのテーマにアプローチする統合型講義を展開し、各学年で修得すべき知識・技術を確認しながら、全人的歯科医師を育成することを目的とする。	

